



ドローンを使って
縁日を開こう

低学年導入編



ここでは、生活科の学習と関わって、他学年や地域の人を楽しませる経験をします。

子ども達が創意工夫をしてお祭りを開く際に、
最先端の科学技術を用いると、さらにワクワク感が増えますね！



ドローンを操作したり、プログラミングを組んだりして遊びます。

この経験を通して、「**生活を豊かにしようとする態度を養う**」ことを目指します。

めざす子ども達の姿



1. 創造性と問題解決能力の育成

ドローンを操作するやり方やプログラムを作る過程で、子ども達は創造的な考え方や問題解決のスキルを身につけます。

2. 科学技術への興味喚起

ドローンやプログラミングなど、最先端の技術に触れることで、子ども達は科学技術に興味を持つかもしれません。



3. コミュニケーション能力

他の子どもや大人と協力して何かを作り上げる過程で、コミュニケーション能力も鍛えられます。

4. 地域コミュニティとの連携

地域の人々が参加することで、地域社会とのつながりも深まります。

子ども達の目標



1. 安全対策

ドローンやプログラミング活動は、安全対策が非常に重要です。

2. 教育的要素

単に遊ぶだけでなく、教育的な要素をどう組み込むかを考えましょう。



3. 参加者のレベルに合わせて

子ども達のスキルと興味に合わせて、活動を調整することが大切です。

「操縦だけするか、プログラミングもするか」など状況に合わせてご活用ください。

4. 地域との連携

地域の人々や企業と連携して、より多くのリソースや知識を活用できるようにしましょう。

実施する際のポイント



基本のドローンの使い方や操縦、プログラミングについては、
「CoDrone EDU教材サイト」や「HDL合同会社ホームページ」で確認できます。



◆CoDrone EDU教材サイト

<https://codroneisland.learno.jp/login.php?done=/>

◆HDL合同会社ホームページ

<https://www.hdl-edu.com/codrone-edu>

ドローン使用方法



1.学習計画を作る

どんな縁日を開きたいのかを考えましょう。

2.友達と相談

アイデアが実現可能かどうか、友達と一緒に考えてみましょう。



3.先生と確認

安全に飛行できるかどうかを先生と確認しましょう。

4.詳細をチェック

バッテリーの残量や飛行時間など、必要な詳細を確認しましょう。

①学習計画を立てましょう



アイデアは無限大。
一例を示します。

② 縁日のアイデアを出し合いましょう

1.ぴったり着地！



ぴったり着地できたら大成功！



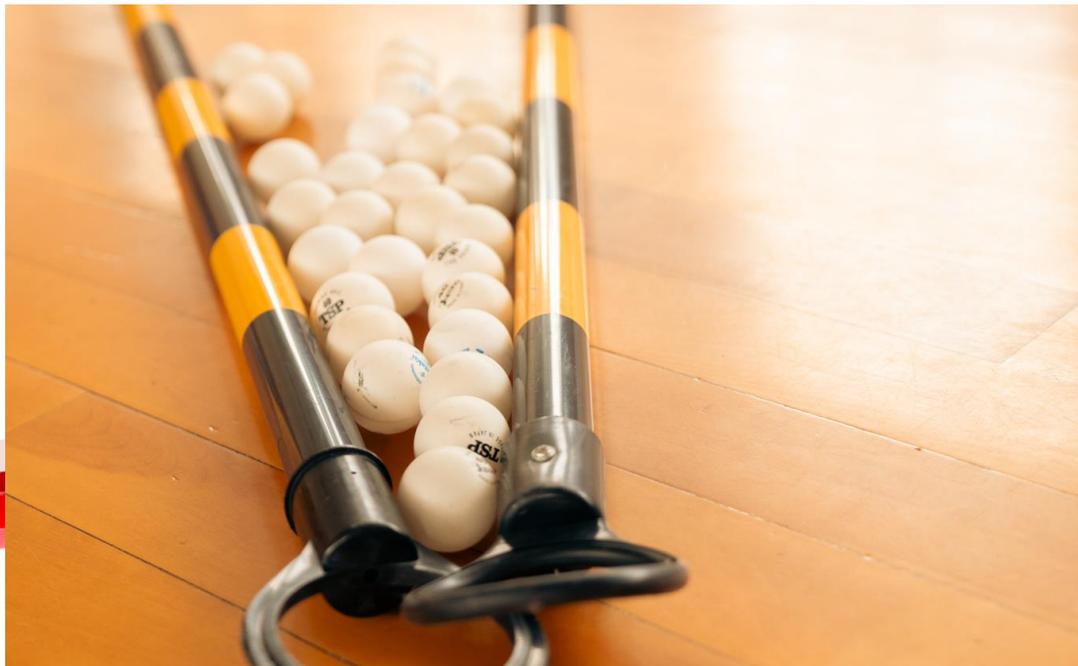
[参考動画はこちら](#)

ポイント！

1. お宝地点を見つけて、
ドローンをぴったり着地させよう。
2. チームで行なうならば、遠くに着地点を決めて、
友達の指示で着地。
3. 着地したら、メジャーで距離を測って、記録
を残そう。

2.ピンポンアウト！

風圧でピンポン球をとりだそう！



[参考動画はこちら](#)

ポイント！

1. コーンバーの隙間にピンポン球を30個入れて、ドローンの風圧でピンポン球を取り出そう。
2. 迷路のようなコースを作ると、更に面白くなるよ。
3. 取り出すまでの時間を計測したり、制限時間内に何個取り出せたかを記録しよう。